
NEWS RELEASE

デジタルガレージ、ユーザーIDの一元化を目指す「OpenID」の普及を後押し グループ2社がOpenIDファウンデーション・ジャパンに参画

株式会社デジタルガレージ(JASDAQ 4819、本社:東京都渋谷区、代表取締役/グループCEO:林 郁)のグループ会社でEコマースサイト向けに決済・物流サービスを提供する株式会社イーコンテキスト(大証ヘラクレス 2448、本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:佐武 利治)と、ブログ検索サービスを提供する株式会社テクノラティジャパン(本社:東京都渋谷区、代表取締役:林 郁)は、Web サービスなどを利用する際のユーザーIDの一元化を目指す認証技術「OpenID」の普及を支援する任意団体「OpenIDファウンデーション・ジャパン」に幹事メンバーとして参画します。

OpenIDは、2005年に米シックス・アパートで開発された、共通のユーザーIDを複数のWebサービスで使えるようにする技術です。OpenID対応サイトで一度IDを取得すれば、他の対応サイト上で新規ユーザー登録することなく、同じIDでログインできるようになります。認証の仕様は、OpenID技術の開発と普及を促進する非営利組織である米OpenID Foundationにより公開され、既に全米で1万以上のWebサイトがOpenIDに対応し、2億5千万件を超えるOpenID対応IDが提供されています(08年2月7日時点:米OpenID Foundationより)。

テクノラティジャパンはすでに、2008年2月19日に行ったブログ検索サイト「Technorati JAPAN」(<http://www.technorati.jp/>)の全面刷新と同時にOpenID技術に対応し、ブログ登録の際の本人確認にOpenIDを使用できるようにしています。この結果、ユーザーがOpenIDに対応したブログを登録する場合に従来必要だった、認証用コードを埋め込んだ本人確認用の投稿が不要になりました。

今回のOpenIDファウンデーション・ジャパンへの参画を契機に、イーコンテキストとテクノラティジャパンは国内におけるOpenID技術の普及に向け、他の参加企業と共に積極的に活動して参ります。

<イーコンテキストのコメント>

「個人情報保護が経営課題として認識される現在、情報セキュリティからの視点だけではなく、IDの一元化によるユーザーの利便性向上が実現できるOpenIDの技術に大きな期待を寄せるとともに、決済ゲートウェイ事業者としての立場からこの活動に貢献できればと考えております」(イーコンテキスト システム業務本部長 渡邊 太郎)

<テクノラティジャパンのコメント>

「OpenIDファウンデーション・ジャパンに参加することを喜ばしく思っております。われわれは、次世代のWebサービスを展開する上において、OpenIDが重要な鍵を握るインフラになると信じています」(テクノラティジャパン 取締役 伊藤 穰一)

OpenIDファウンデーション・ジャパンについて: OpenIDファウンデーション・ジャパンは、シックス・アパート株式会社、日本ペリサイン株式会社、株式会社野村総合研究所を発起人とし、日本国内におけるOpenID技術の普及、啓発活動を目的に2008年4月に設立を予定している任意団体です。OpenID技術に対する国内要望の取りまとめや、米OpenID Foundationへの情報提供、国内ウェブサービスにおけるOpenID技術の普及促進、インターネットユーザーに対するOpenID技術の啓発活動の推進などを行います。米OpenID Foundationは、2007年6月に米国で設立された任意団体です。会長や副会長など8人の理事と、米IBM、米グーグル、米ペリサイン、米マイクロソフト、米ヤフーからの5人の法人理事からなる理事会を中心に、OpenID技術の普及、啓発活動を推進しています。